



2022・6・7(火)
縄瀬 保育園
池之上 俊江
NO. 4

「長続きする幸せ」

我が子も自分達も幸せな人生を生きたい！と誰しも思うのではないのでしょうか。毎年、国連が定めた世界幸福度調査がニュースでも発表されます。この調査結果を挙げてメディアが「先進国中で日本の幸福度が毎回低い」と取り沙汰される事は有名な話です。実際 2022 年調査の結果、日本は先進国中で最下位の 54 位という結果でした。日本の幸福度が低い理由に、北欧とは異なる日本独自の教育文化や人間性も関連していると思います。個人主義である北欧の人は「自分」のありのままの考えを語ります。しかし集団主義である日本人は「何よりも先に周りの意見を気にしてそれに合わせよう」とします。それが幸福度の低い要因であるとも言えます。主体的に選択する事で楽しさが生まれ、幸せを長続きさせる事ができます。調査の結果、幸せを継続させる為の「4 つの心的因子」が重要とありました。①自己実現と成長(やってみようの因子)②つながりと感謝(人との関わり、ありがたみの因子)③前向きと楽観的思考(なんとかなるの因子)④自分らしさを知る(ありのままに・・・の因子)とありました。この4つがバランスよく備わっていることがより幸せな状態と言えます。縄瀬の子ども達は毎日の遊びの中でこの4つを経験しています。主体的に遊びを選択する事でやってみたい！の意欲が育ちます。仲間と助け合ったり、揉めたり、譲ったりの場面も主体的に遊びを選択できる環境だからこそ豊富に経験できます。挑戦するにも時には挫折だってあります。現時点の自分の力を知る事も経験の中で学び、自分自身と折り合いをつけていくのです。日本人としての思いやりや謙虚さの特性を生かしつつ、多様な社会に通用する為には多様な文化を少しずつ自分の力にする事もこれからの時代に大切であると思います。ある本に、「日本人は自分の考えを持っていない人が多い。商談でも「いいですね。それに賛成です。」と共感するか「すみません」と謝るばかりだ。他国では一回の会議で意見がまとまる事はない。それは参加した一人ひとりが意見をとことん出して、お互いが納得するまで語りあうからだ。」と書いてありました。日本は「謙虚でありなさい」「相手を思いやりなさい」という道徳的教育が徹底されています。自分の意見を言うよりは、相手の意見を尊重する方が丸く治まるし「どちらでもいい」と無難に合わせる方が楽だ。と考える場面は多いと思います。これからの時代を生き抜く子ども達には、その場面に適応できる力を身につけてほしいです。それが豊富に経験できる時間が「遊び」です。ドキュメンテーションでも時折でてくるワードですが「アクティブ・ラーニング」がそれに値します。大人が参加する会議の様に、質の高い話し合いがあらゆる場面で毎日行われています。自分の意見が通るまでとことん話し合ったり、相手の意見を尊重したり、役割を決めたり、時には揉めて中断したり・・・こっそり聞いているだけでこちらが楽しくなります。このような経験が社会にでた時に必ず自分の力として残っていきます。私たちの保育は小学校への就学が到達地点ではありません。小学校就学も含めて 10 年後、20 年後と先を見据え、子ども達が社会へ出た時に生き抜いていける力の土台作りの為に関わりをしていきます。社会を生きる力・幸せを長続きさせる力を身につける為に遊びに没頭する子ども達の姿をこれからも見守り続けたいと思います。

絵本との出会い・・・

夕方の帰る時間帯になると、貸出コーナーで絵本を選ぶ親子の姿に嬉しくなります。絵本の力は偉大です。母と姉も同業者の為、実家には多数の絵本がありました。高校受験の冬、塾から帰宅後好きな本を選びストーブの前で声に出して絵本を読む事が私の好きな時間でした。絵本は様々な動物、食べ物、言葉に出会う事ができたり、年齢が進むと、ストーリーの登場人物になりきって絵本の中で遊ぶ事もできます。語彙力、想像力も豊富になります。また、読み聞かせには肉声大切です。わらべ歌もですが、愛着ができて大人の声やトーンがさらに絵本を楽しくさせ、安心させてくれます。私も 2 人の我が子に読み聞かせ真っ最中です。忙しい時間ですが、時間や冊数をきめて読む事で絵本後は眠るという習慣ができてきます。私自身も絵本を読む事で、落ち着いた時間を過ごせる様になりました。慌ただしい毎日のお母さんだからこそ、5 分でも我が子とゆっくりできる時間を過ごして下さいね。自分で読めるお子さんも、今の時間は私に読ませてくれると伝える事が大切です。今しかできない読み聞かせの時間を大切にしていきたいですね。絵本を数冊かごに入れたり、本棚を活用して家庭でも所定の場所に絵本がある環境が作れるといいですね。大人向けの本や保育雑誌も貸出しています。